

令和6年第4回士別市議会定例会会議録（第1号）

令和6年11月29日（金曜日）

午前10時00分開会

午前10時39分散会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

日程第 1 会期の決定について

日程第 2 行政報告について

日程第 3 報告第 18号 専決処分の報告について

日程第 4 議案第 95号 士別市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について

日程第 5 議案第 96号 士別市公民館条例の一部を改正する条例について

日程第 6 議案第 97号 士別市地域福祉計画について

日程第 7 議案第 98号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第8号）

議案第 99号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第 100号 令和6年度士別市下水道事業会計補正予算（第2号）

議案第 101号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第5号）

日程第 8 諮問第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第 9 認定第 1号 令和5年度士別市一般会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 2号 令和5年度士別市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 3号 令和5年度士別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 4号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 5号 令和5年度士別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 6号 令和5年度士別市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 7号 令和5年度士別市水道事業会計決算認定について（予算決算常任委員長結果報告）

認定第 8 号 令和5年度士別市病院事業会計決算認定について（予算決算常
任委員長結果報告）

散会宣告

出席議員（14名）

副議長	1 番	村 上 緑 一 君	2 番	石 川 陽 介 君
	3 番	湊 祐 介 君	4 番	中 山 義 隆 君
	5 番	加 納 由美子 君	6 番	奥 山 かおり 君
	7 番	西 川 剛 君	8 番	佐 藤 正 君
	9 番	真 保 誠 君	10 番	喜 多 武 彦 君
	11 番	谷 守 君	12 番	大 西 陽 君
	13 番	十 河 剛 志 君	議 長	15 番 山 居 忠 彰 君

出席説明員

市 長	渡 辺 英 次 君	副 市 長	法 邑 和 浩 君
総 務 部 長	大 橋 雅 民 君	市 民 部 長	丸 徹 也 君
健康福祉部長	東 川 晃 宏 君	経 済 部 長	坂 本 英 樹 君
建設環境部長	藪 中 晃 宏 君		

教 育 委 員 会 長	泉 山 浩 幸 君	教 育 委 員 会 長	三 上 正 洋 君
教 育 委 員 会 長		生涯学習部長	

市 立 病 院 者	中 舘 佳 嗣 君	経 営 管 理 部 長	池 田 亨 君
副 管 理 者			

農業委員会会長	上 野 浩 二 君	農 業 委 員 会 長	林 秀 忠 君
		農 務 局 長	

監 査 委 員	浅 利 知 充 君	監 査 委 員 長	四ツ辻 秀 和 君
		監 査 局 長	

事務局出席者

議会事務局長	岡 崎 忠 幸 君	議 会 事 務 局 長	須 藤 友 章 君
議 会 事 務 局 査	中 井 聖 子 君	議 会 事 務 局 査	清 水 健 正 君
議 会 事 務 局 査		議 会 事 務 局 査	

(午前10時00分開会)

○議長（山居忠彰君） 令和6年第4回定例会が招集されましたところ、本日の出席議員は全員であります。

ただいまから開会いたします。

直ちに会議を開きます。

○議長（山居忠彰君） 本定例会の会議録署名議員には、2番 石川陽介議員、3番 湊 祐介議員、4番 中山義隆議員を指名いたします。

○議長（山居忠彰君） ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

報告第 18号 専決処分の報告について

議案第 95号 士別市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について

議案第 96号 士別市公民館条例の一部を改正する条例について

議案第 97号 士別市地域福祉計画について

議案第 98号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第8号）

議案第 99号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第100号 令和6年度士別市下水道事業会計補正予算（第2号）

議案第101号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第5号）

諮問第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について

2. 常任委員会から送付された審査経過及び結果の報告は次のとおりである。

認定第 1号 令和5年度士別市一般会計歳入歳出決算認定について

認定第 2号 令和5年度士別市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第 3号 令和5年度士別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第 4号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第 5号 令和5年度士別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第 6号 令和5年度士別市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第 7号 令和5年度士別市水道事業会計決算認定について

認定第 8 号 令和 5 年度士別市病院事業会計決算認定について

3. 監査委員から送付された報告は次のとおりである。

例月現金出納検査の結果に関する報告 7 月、8 月、9 月分

4. 意見書の処理結果は次のとおりである。

議決年月日	件 名	提出年月日	提 出 先
6. 9. 13	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	6. 9. 13	内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 国土強靱化担当大臣 衆議院議長 参議院議長
6. 9. 13	改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書	6. 9. 13	内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣 衆議院議長 参議院議長

5. 議長会の関係については次のとおりである。

(1) 第19回全国市議会議長会研究フォーラム

イ. 開催日 令和6年10月9日から10日

ロ. 開催地 岩手県盛岡市

ハ. 出席者 山居議長

ニ. 会議概要 「地方議会の課題と主権者教育」についてパネルディスカッションを行い、「主権者教育の取組報告」について課題討議を行った。

(2) 北海道市議会議長会道北支部議長会

イ. 開催日 令和6年10月18日

ロ. 開催地 富良野市

ハ. 出席者 山居議長、村上副議長

ニ. 会議概要 令和7年度道北支部議長会事業計画（案）外5件について協議し、情報交換、視察を行った。

(3) 北海道市議会議長会正副会長会議・役員会

イ. 開催日 令和6年10月21日

ロ. 開催地 根室市

ハ. 出席者 山居議長

ニ. 会議概要 北海道市議会議長会各市負担金の見直しについて外8件について説明を受け、全国市議会議長会第118回評議員会に提出する議案について外2件について協議し、終了した。

(4) 北海道市議会議長会中央実行運動

イ. 開催日 令和6年11月5日

ロ. 要望先 北海道選出国會議員及び関係省庁

ハ. 出席者 山居議長

ニ. 要望事項 ・北海道新幹線の建設促進について
・学校施設等への冷房設備の整備について
・北方領土問題の早期解決等について
・地域医療体制の充実確保について
・北海道の道路整備について

(5) 全国市議会議長会第238回理事会・第118回評議員会合同会議

イ. 開催日 令和6年11月6日

ロ. 開催地 東京都千代田区

ハ. 出席者 山居議長

ニ. 会議概要 一般事務報告外8件について報告を受け、部会提出議案18件、会長提出議案5件について協議し、終了した。

6. 議員の派遣についての報告は次のとおりである。

(1) さっぽろ市士別ふるさと会

イ. 派遣場所 札幌市

ロ. 派遣期間 令和6年10月19日

ハ. 派遣議員 山居議長、村上副議長、石川議員、大西議員、加納議員、喜多議員、佐藤議員、中山議員、西川議員、湊議員

(2) 東京士別ゆかりの会

イ. 派遣場所 東京都港区

ロ. 派遣期間 令和6年10月25日から26日

ハ. 派遣議員 村上副議長、奥山議員

(3) 産業フェスタみよし2024

イ. 派遣場所 愛知県みよし市

ロ. 派遣期間 令和6年11月2日から4日

ハ. 派遣議員 山居議長、中山議員

7. 本会議に出席する者は次のとおりである。

市 長	渡 辺 英 次	副 市 長	法 邑 和 浩
総 務 部 長	大 橋 雅 民	市 民 部 長	丸 徹 也
健康福祉部長	東 川 晃 宏	経 済 部 長	坂 本 英 樹
建設環境部長	藪 中 晃 宏	市 民 部 長 朝 日 支 所 長	佐 藤 義 弘

建設環境部 都市整備統括監 兼都市環境課長 総務課長 (併)選挙管理 委員会事務局長	佐々木 誠	企画課長	増田 晶彦
	水 留 啓 諭	地方創生管理監	久 光 徹
財政課長	佐 藤 寛 之	くらし安全課長	青 木 伸 裕
市民課長	阿 部 淳	税 務 課 長	阿 部 也 寸 志
朝日支所 地域生活課長	岡 崎 浩 章	朝日支所 地域生活管理監 (併)地域文化 課 長	島 田 英 貴
上士別出張所長 兼上士別構造 改善センター 所 長	興 水 賢 治	多寄出張所長 兼多寄研修 センター所長 兼多寄構造改善 センター所長	川 原 広 幸
温根別出張所長 兼温根別生活改善 センター所長 兼温根別多目的 研修集会施設所長	佐々木 憲 也	地域福祉課長	瀧 上 聡 典
こども・子育て 応援課長	武 山 鉄 也	高齢者福祉課長	青 木 秀 敏
介護予防推進 管理監	東海林 優 子	保健福祉 センター所長 兼成人病健診 センター所長	川 原 淳 子
農業振興課長	藤 田 昌 也	農業振興課 耕地管理監	喜 多 伸 光
畜産林務課長	市 橋 信 明	商工労働観光課長	庄 司 伸 一
都市環境課 都市環境管理監 兼バイオマス資源 堆肥化施設施設長	村 田 雄 大	建 築 課 長	峯 垣 智 剛
施設維持センター 所 長	山 下 正 明	環境センター所長	今 井 博 明
上下水道局長	土 田 実	上下水道局 上下水道管理監	中 井 康 寛
保健福祉 センター副長 兼成人病健診 センター副長	水 田 美 咲	保健福祉 センター副長 兼成人病健診 センター副長	大 懸 保 司
農業振興課副長	小 林 真 二	畜産林務課副長	太 田 幸 兵
商工労働観光課 副 長	木 村 哲 晃	教 育 委 員 会 長 教 育 長	泉 山 浩 幸

教育委員会
生涯学習部長

三上正洋

教育委員会
学校教育課長

岡田 詔彦

教育委員会
学校教育課
高等教育管理監
兼土別東高等学校
事務長

岡田 英俊

教育委員会
学校給食センター
所長

河 口 光輝

教育委員会
社会教育課長
兼中央公民館長
兼市民文化
センター館長

千葉 真奈美

教育委員会
図書館
兼生涯学習情報
センター所長

佐藤 祐希

教育委員会
博物館長
兼公会堂展示館長

大留 義幸

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課長
兼総合体育館長
兼スポーツ
交流館副館長

徳竹 貴之

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課
スポーツ推進
管理監
兼総合体育館
副館長
兼スポーツ
交流館副館長

黒沼 淳一

教育委員会
学校教育課副長

伊藤 昌彦

教育委員会
学校給食センター
副長

丸 奈央子

教育委員会
社会教育課副長

佐藤 和佳子

教育委員会
中央公民館副長
兼市民文化
センター副長

高橋 幸人

教育委員会
図書館
兼生涯学習情報
センター副長

藤田 昌宏

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課副長

上川 学

市立病院
病院事業副管理者

中館 佳嗣

市立病院
経営管理部
市立病院
医事課
市立病院
総務課
農業委員会
職務代理者

池田 亨

市立病院
総務課副院長

半澤 浩章

田上 泰成

市立病院
総務課副院長

水村 友博

木島 啓

市立病院
総務課副院長

上野 浩二

工藤 修一

市立病院
総務課副院長

林 秀忠

監査委員

浅利 知充

市立病院
総務課副局長

四ツ辻 秀和

8. 本会議の事務に従事する者は次のとおりである。

議会事務局長

岡崎 忠幸

議会事務局
総務課長

須藤 友章

議会事務局
総務課主査

中井 聖子

議会事務局
総務課主任主事

清水 健正

以上報告する

令和6年11月29日

○議長（山居忠彰君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定についてを議題に供します。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月13日までの15日間と決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から12月13日までの15日間と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に日程第2、行政報告についてを議題に供します。

行政報告を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） 令和6年第4回定例会に当たり、諸般の行政報告をいたします。

初めに、農業関係についてです。

本年は、7月23日から翌日にかけての大雨により、農地の冠水などの被害を受けましたが、その後の天候に恵まれたことにより、全体的には平年作以上の作柄となりました。主な作物の状況では、水稻は上川管内の作況指数が103でやや良となり、収量は10アール当たり612キロの平年作となりました。

次に、畑作物では、小麦、大豆についてはおおむね順調に生育し、収量・品質とも平年作を上回り、バレイショや玉ねぎについても平年作以上の収量が確保されました。

また、10月7日から製糖作業が始まったてん菜は、今年度の平均糖度が15.7%、10アール当たり収量は6.1トンで平年並み以上の確保が見込まれます。

このように農作物全般について、豊穰の秋を迎えることができたことに感謝を申し上げますとともに、今後収穫後の農作物の品質保持などに万全を期してまいります。

次に、第2次まちづくり総合計画の策定についてです。

計画策定の基礎資料とするため、生活に対する満足度や現計画における施策の重要度等を確認する市民意識調査を実施しました。郵送とWebを合わせて697名から御回答をいただき、43.6%の回答率となりました。今後は分析業務を進めるとともに、中高生アンケートやワークショップなどを行う中で、これまでの取組の検証や将来のあるべき姿の構想について検討してまいります。

次に、イベントについてです。

9月29日に、2回目となる羊のまち士別肉盛フェスが実行委員会の運営により開催され、多くの方々が足を運び、士別産のサフォークの丸焼きなどを堪能されました。

10月12日から14日までの3日間にわたり、道の駅秋祭りが開催され、道北5つの道の駅が本市に集まり、各駅の特産品が販売されました。

13日には、野菜の詰め放題や士別翔雲高校による天サイダーの実習販売のほか、中心商店街振興組合とのコラボ事業として、旧江端商店にてお買物ラリー抽選会などが催され、多くの市民や観光客でにぎわいました。

また同日には、日向スキー場において、羊のまち士別トレランフェスも開催され、秋晴れの中、道内外から参加した約100名の選手が健脚を競いました。

さらに、11月2日、土曜日から3日、日曜日にかけて、東京都中野区で開催された、羊フェスタ2024にサフォークランド士別プロジェクトが出店し、士別産の良質な羊肉を通して、広く本市をPRいただきました。

次に、川内村との絆づくりと友好都市みよし市との交流についてです。

川内村との絆づくりでは、9月24日から4日間の日程で、第11回士別にコラッセ交流学校を開催し、川内小中学園の5年生9名を受け入れました。滞在中は、士別南小学校で授業を受けたほか、アイスクリーム作りやモルックなどのスポーツを通じて交流と体験を行い、短い期間でしたが、充実した時間となりました。

11月3日に開催された産業フェスタみよしには、山居議長や法邑副市長をはじめ、JA北ひびき、観光協会などから11名が参加しました。士別市のブースでは、バレイショや玉ねぎ、カボチャ等の農産物やサフォークラム串などを販売し、多くの市民が列をつくり、大変好評を得たところです。

また、今後の交流事業の在り方などについて意見交換を行い、引き続き両市で協議していくことを確認しました。

次に、ふるさと交流についてです。

10月19日に、今年で40回を迎えたさっぽろ市士別ふるさと会の交流の集いが行われ、本市からは私や山居議長をはじめとする総勢25名が参加し、ふるさと納税や産業フェアへの参加など、日頃からの応援にお礼を申し上げ、会員の方々と交流を深めました。

また、10月26日には38回目となる東京士別ゆかりの会の総会が行われ、村上副議長や法邑副市長など5名が参加しました。まちづくり応援大使である和泉雅子さんも参加される中、行われた総会では、藤井会長が挨拶で、会員の皆さんも年齢を重ね、年々参加が難しくなっているが、来年もみんなが集まりたいと述べられ、交流の継続を改めて確認しました。総会後の懇親会では、ミニコンサートや本市の特産品などを景品にしたお楽しみ抽選会も行われ、会員の皆様と親しく懇談してまいりました。

次に、移住定住の促進についてです。

移住定住施策について官民が連携し、市民や事業者の柔軟な発想で考え、行動することを目的に準備を進めてきた移住定住交流促進協議会Ma z a r u（まざる）が10月7日に設立されました。今後は、本市が取り組む移住定住施策についても、Ma z a r uのコンセプトである、交わり、混ざり、つながり、未来を創るという視点を加え、これまで以上に市民や関係団体と連携を図りつつ、将来的な移住定住施策の方向性を見据えながら、効果的な事業展開を図って

まいります。

次に、士別市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定についてです。

地域と共生する再生可能エネルギー発電事業の普及を図るとともに、地域との調和及び市民の安全で安心な生活を確保することを目的とする条例案について、10月1日から31日までの期間でパブリックコメントを募集し、1件の御意見をいただきました。いただいた御意見に対しては、11月13日付で本市の考えをお示したところであり、今議会において、条例の制定を提案いたします。

次に、ノーカーデーの取組についてです。

士別市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に掲げる移動時の省エネルギー行動の一環として、秋の全国交通安全運動の期間を活用し、職員を対象にマイカーの利用を控えるノーカーデーの取組を行いました。期間中の取組率は72%であり、今後、事業内容や対象の拡大などについて検証を進めます。

次に、ふるさと納税についてです。

11月15日現在の申込み件数及び金額は2,768件、7,609万6,000円となり、既に昨年度実績の3,276件、7,219万8,000円を上回り、過去最高額となっています。この要因については、全国的な米不足に伴うお米の返戻需要の増をはじめ、寄附額の下限を1万円から5,000円に変更したことや返礼品の種類の増、さらには返礼品紹介画像の更新やターゲットを絞った効果的なWeb広告の実施など、様々な取組による成果と分析しています。全国各地からの御寄附に感謝するとともに、引き続き業務委託先であるまちづくり士別株式会社と連携しながら、ふるさと納税を通じた地場産業の振興と本市特産品の魅力発信に努めてまいります。

次に、子供たちの活躍についてです。

10月6日から開催された、佐賀国民スポーツ大会のウエイトリフティング競技において、士別翔雲高校3年生の榎本凌也さんが96キロ級でスナッチとジャークの2種目で優勝し、2年生の石川英虎さんが67キロ級で、スナッチとジャークの2種目で4位入賞を果たしました。

また、本市高校生の活躍により、北海道少年男子団体で3位の好成績を収めたところです。

次に、スポーツ合宿招致活動についてです。

11月24日に仙台市で開催された全日本実業団対抗女子駅伝競走大会、いわゆるクイーンズ駅伝に合わせて、合宿の里士別推進協議会と連携し、21日から23日の日程で仙台を訪れ、合宿招致活動を行いました。大会に参加されるチームに加え、各地の実業団陸上競技連合の方々と来年度の合宿などについて情報交換を行ったところです。今後も年初のニューイヤー駅伝や箱根駅伝など、駅伝シーズンが続きますので、引き続き招致活動を進めてまいります。

次に、ふるさと給食についてです。

11月12日と14日に、今年度最後となるふるさと給食を実施しました。今年も生産者をはじめ、企業や団体などたくさんの方々から食材の提供などを賜りましたことに感謝を申し上げます。

地元で生産された農畜産物を活用した給食を通じて、児童・生徒、幼稚園、僻地保育園児に、地場産業への理解を深めるとともに、食育の推進を図りました。

次に、市立病院の経営状況についてです。

9月までの患者動向について、入院は4月から3病棟体制を再開したこともあり、1日平均患者数が106.9人と、前年同期との比較で14.5%の増、収益が9,104万円の増となりました。

一方、外来は1日平均患者数が361人と前年同期との比較で0.9%の減、収益が1,884万円の減で推移をしています。この結果、前年同期での収益は7,420万円の増となり、収支差引では4,300万円の改善となる状況です。今年度は、経営強化プランの着実な実践と推進のため、これまでの取組に加えて、医療の質の確保と経営改善を推進するため、プロセスを重視した業績評価の視点を取り入れた経営マネジメント手法の導入に向け、準備を進めているところです。

引き続き、上川北部地域のセンター病院である名寄市立総合病院及び地域医療連携推進法人との協調の深化と、持続可能な経営基盤の構築を進め、地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすべく、病院経営に取り組んでまいります。

最後に、公共工事の執行状況についてです。

本年度における建設工事などの発注については、3月に発注済みのゼロ市債事業を含め、170件、約12億3,636万円を予定したところです。この11月20日までに、黄金橋橋梁添架管敷設工事、東仲通北通り配水管敷設替工事などを予定件数の約93.5%、159件の発注を得たところであり、発注総額は10億7,500万円となりました。

なお、平均落札率は96.67%となっています。

今後、温根別地区河川工事などの発注を予定しており、引き続き市内の経済情勢を考慮し、適切な発注に努めてまいります。

以上申し上げ、諸般の行政報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上で行政報告を終わります。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、報告第18号 専決処分の報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました報告第18号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第7号）の専決処分について、その内容を御説明申し上げます。

去る10月9日に衆議院が解散されたことに伴い、10月15日公示、27日投票の日程で衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が執行されました。速やかな選挙事務実施のため、1,780万1,000円を予算措置したもので、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、衆議院解散表明があった10月1日付で専決処分した次第です。

なお、これに要する財源としては、道支出金の特定財源をもって収支の均衡を図った次第です。

よろしく御承認のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第18号は、原案のとおり承認と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第4、議案第95号 士別市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第95号 士別市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について、その概要を御説明申し上げます。

今回の制定は、全国で増加している再生可能エネルギー発電施設の設置について、豪雨や積雪など自然災害による被害が全国的に発生していることや、太陽光パネルなどの発電設備が放置、または不法投棄される懸念があることから、地域住民の安全や環境への影響等に十分配慮し、地域と適切な調和を図られた再エネ設備の導入を進めるため、設置に関わる基本的な事項や市への届出、事業運営に関する指導・助言などに関する規定を整備するものであります。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第95号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第5、議案第96号 士別市公民館条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。三上生涯学習部長。

○生涯学習部長（三上正洋君）（登壇） ただいま議題となりました議案第96号 士別市公民館条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

昭和29年に設置した上士別公民館兼内分館については、これまで今後の分館の在り方について、地域住民と協議を重ねてまいりましたが、人口減少及び高齢化に伴う施設の使用減少や、分館職員の新たな担い手が見込めないことから、令和7年3月末をもって廃止し、4月1日から上士別公民館と統合するものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第96号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第6、議案第97号 士別市地域福祉計画についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第97号 士別市地域福祉計画について、その概要を御説明申し上げます。

本計画は、社会福祉法第107条に基づき、市町村の地域福祉の推進に関する事項を定める計画であり、令和元年度に第4期計画を策定し、各種施策を進めているところです。現計画が6年度をもって終了するため、7年度から12年度までの6年間を計画期間とする第5期計画を策定することから、地方自治法第96条第2項及び士別市議会基本条例第15条第2項の規定に基づき、議会の議決を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第97号については、会議規則第36条の規定により、文教厚生常任委員会に付託することにいたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第97号については、文教厚生常任委員会に付託することに決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第7、議案第98号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第8号）、議案第99号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第1号）、議案第100号 令和6年度士別市下水道事業会計補正予算（第2号）及び議案第101号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第5号）、以上4案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました議案第98号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第8号）から議案第101号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第5号）までについて、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

本補正は、灯油価格の高騰に伴う福祉灯油助成事業費のほか、維持管理業務委託などに関する債務負担行為の追加など、当面の予算措置を要するものについて、所要の補正を行うもので、以下、その主な内容について御説明申し上げます。

初めに、一般会計についてです。

総務費では、財政調整基金等管理費において、ふるさと寄附の件数、金額ともに当初予算を上回る見込みであることから、ふるさと応援基金などへの積立金3,100万円を追加計上しました。同様に、ふるさと寄附金推進事業費では、返礼品発送等に要する経費、3,100万円を追加計上しました。

地域公共交通総合対策事業費では、士別軌道が運行する市町村生活バス路線の中多寄線ほか4路線、予約制乗合バスの川西・南沢線、武徳線の委託料として3,494万円、準生活路線である川南・大和線ほか1路線及び市内循環バス路線に対する補助金として944万7,000円、このほか道北バス株式会社が旭川名寄間を運行する地域間幹線バス名寄線において、沿線6自治体で応分の額を負担する補助金として752万4,000円、合わせて5,191万1,000円を追加計上しました。

次に、民生費です。

福祉灯油助成事業費では、厳冬期に向けて、灯油価格の高値が続く状況から低所得者世帯等に対する生活への影響を考慮し、士別市福祉灯油助成事業実施要綱の規定に基づき、高齢者、重度障害者、独り親及び生活保護世帯の約720世帯に対して、1世帯当たり6,000円を上限として、443万円を計上しました。

なお、本年度から対象者の利便性と業務の効率化を図るため、灯油助成券の交付から現金支給に変更しました。

障害者自立支援給付事業費では、令和5年度の障害者自立支援給付費が確定したことから、国への返還金186万2,000円を計上しました。自立支援医療事業費についても同様に、国・道への返還金1,404万3,000円を計上しました。

老人保護措置事業費では、令和6年度の介護報酬改定などに伴う老人保護措置費の価格改定によって、扶助費が不足することから、250万7,000円を追加計上しました。

高齢者等入浴料助成事業費では、入浴施設の利用者が当初見込みを上回ることから、32万3,000円を追加計上しました。

未熟児養育医療給付事業費では、給付対象者の養育医療を要する期間が想定を上回るとともに、今後の対象者が増える見込みとなることから、150万円を追加計上しました。

次に、農林水産業費です。

畑地化促進事業費では、北海道から10月28日付で補助金の内示があったことから、水田の畑地化に取り組む農業者を支援するため、士別市農業再生協議会に対する土地改良区決済金等支援金として、3億6,644万3,000円を計上しました。

なお、これらに要する財源については、国・道支出金などの特定財源のほか、財政調整基金の一般財源をもって、収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

清掃、警備等の施設維持管理業務や、市議会会議録原稿作成業務などについて、事前に契約をすることにより、円滑に業務を遂行するため、所要の措置を講ずるものです。

次に、水道事業会計及び下水道事業会計です。

債務負担行為の補正について、一般会計と同様に施設の維持管理業務などを事前に契約することにより、年度当初から円滑に業務を行うため、所要の措置を講ずるものです。

次に、病院事業会計です。

現在、士別市立病院経営強化プランの項目の一つである経営の効率化等の取組として、診療報酬収入改善に向けた成功報酬形式での業務委託をしています。当初見込んでいた収入改善予定額を上回る推移で経過していることから、これに伴う委託料1,000万円を追加計上するものです。

なお、これに要する財源については、収入改善により、増額を見込む入院収益で対応を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

一般会計と同様に、施設の維持管理業務委託などについて、事前に契約することにより、年度当初から円滑に業務を行うため、所要の措置を講ずるものです。

以上、今回の補正の概要について御説明申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第98号から議案第101号までの4案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第8、諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について御説明申し上げます。

令和7年3月31日をもって任期満了となる柏倉真紀子氏を再度候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、推薦に同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、諮問第3号は推薦同意と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第9、認定第1号 令和5年度士別市一般会計歳入歳出決算認定についてから、認定第8号 令和5年度士別市病院事業会計決算認定についてまで、以上8案件を一括議題に供します。

予算決算常任委員長の報告を求めます。喜多武彦委員長。

○予算決算常任委員長（喜多武彦君）（登壇） ただいま議題となりました認定第1号 令和5年度士別市一般会計歳入歳出決算認定についてから、認定第8号 令和5年度士別市病院事業会計決算認定についてまでの8案件に対する予算決算常任委員会の審査経過並びに結果を御報告申し上げます。

本委員会は、付託された決算認定議案に対し、10月23日に一般会計、各特別会計、各企業会計の決算内容について質疑を行いました。審査に当たっては、事務事業が適正かつ効率的に執行されているか、どのような効果が得られたのか、市民サービスの充実や福祉の向上が図られているかなど、決算書及び関係書類、監査委員の決算審査意見書なども参考にしながら、渡辺市長をはじめ、説明員の出席を求め、慎重に審査を行いました。

審査結果については、認定第1号から認定第8号までの8案件は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、委員長の報告のとおり認定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、認定第1号から認定第8号までの8案件は原案のとおり認定と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。

議事の都合により、明11月30日から12月9日までの10日間は休会といたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、明11月30日から12月9日までの10日間は休会と決定いたしました。

なお、12月10日は午前10時から会議を開きますので、御参集願います。

本日はこれをもって、散会いたします。

御苦労さまでした。

（午前10時39分散会）